

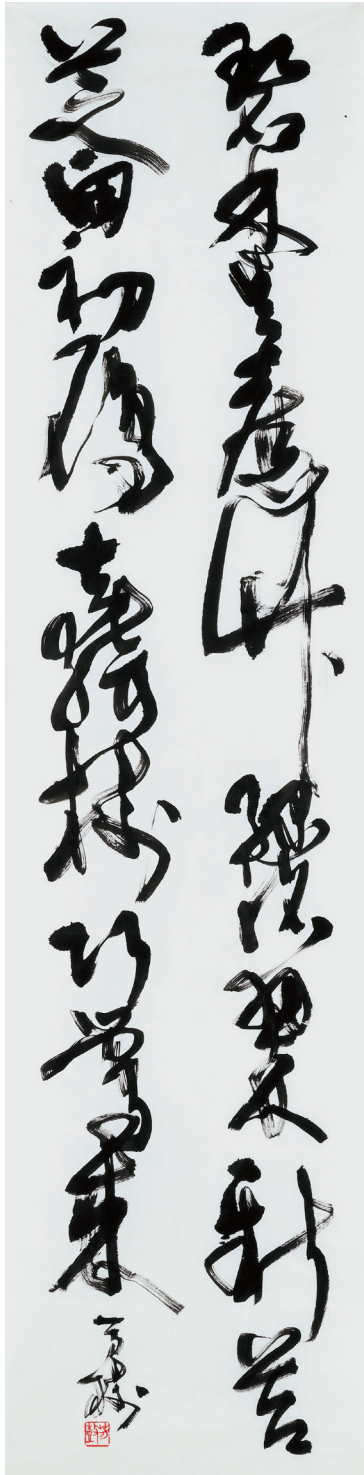
先生の言葉

二〇二二年八月「生誕百年記念 成瀬映山展」が一年遅れで開催されました。師の若年から晩年まで展示された作品から、改めて年代とともに書風の変遷を見ることができました。私にとり書への取り組みを見直す一週間となりました。

紙 南華箋
墨 墨汁
筆 天守

今回制作中に「多く習え、書かなければ答えは出ないんだから。書かなければ折角の能力も発揮されずに終わってしまう。書いているうちに持っている能力が開花してくる。練習を重ねることだ。」
「一生懸命臨書する数を重ねる。それはある時期ではなく、書を業とする者が生涯を通じての繰り返しであるということを知って欲しいのです。」これらの師の言葉や文が脳裏をよぎり「日頃の鍛錬はどうだ」と問われているようで背筋が冷たくなりました。浅学菲才の私には、この言葉のように数多く書くしか道はありません。師の言葉に対し胸を張って答えることが出来るように、心新たに書作に励む機会となりました。

歳 森 芳 樹
TOSHIMORI Yoshiki



碧林青舊竹
綠沼翠新苔
芝田初雁去
綺樹巧鶯來

159cm × 39cm